

# あれから10年

## 「夢をかたちに」



宜野湾ロータリークラブ 例会卓話 6月5日(水)



2580地区 パストガバナー 櫻井 権司  
(東京武蔵野ロータリークラブ)

## 自己紹介

- 1947年(昭和22年)12月 東京郊外 武蔵野市 誕生  
戦時中の中島飛行機武蔵野工場跡地 NTT電気通信研究所 アメリカンスクール  
野球場、サッカー場、水泳プール、等に大きな施設に囲まれた環境の良い地域。
- 小学生時代 地元公立小学校に通う。カブスカウト、ボーイスカウト 活動  
5年生の時“てんかん”の同級生の下校をサポートしてあげ、人に尽くす  
喜びを知る。
- 大学時代 学園騒動により2年間学校閉鎖 就職試験失敗  
祖父の代よりの不動産賃貸業を手伝う。
- 20代・30代 武蔵野青年会議所設立に奔走 1972年11月5日認証証伝達式を行う  
JC活動主体の生活、  
(武蔵野JC理事長、わんぱく相撲、行政改革市民パレード、議員定数削減  
田無JC拡大委員長、日本JC北方領土特別委員長、第6回JC青年の船)



○ 年8月1日 東京武蔵野ロータリークラブ入会(42歳)





# 市民、厳しい監視の目

## 「退職金審議」の武蔵野市会



武蔵野市議会の勝野市長を囲めた市民。審議に厳しい目を光らせた

「合意がそのまま通るなら  
議会なんか不要だ」

ぎっしり傍聴

市長と議長に抗議文  
「合意がそのまま通るなら、議会なんか不要だ」と、市民は傍聴席から声を上げた。市会では、退職金審議が、市民の注目を浴びた。市民は、市長と議長に抗議文を送った。市民は、市長と議長に抗議文を送った。市民は、市長と議長に抗議文を送った。

1983年武蔵野JC理事長

行政改革の飛び交う時代

武蔵野市職員誰でも一定期間勤めると4000万円退職金が支払われる。

JCの奉仕は誰にも喜ばれる奉仕をしてきたが、時として市民運動の先頭に立たなければならない。

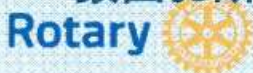
決断

市民パレードを行う



## 1989年8月1日東京武蔵野ロータリークラブ 入会

- 父の友人より2回目の入会誘いを受け、履歴書を提出1年間音沙汰なくその後例会の招待があり1ヶ月後入会する。
- 武蔵野RCは1957年創立、東京7番目 多摩地域で最初の設立格式と伝統重んじる。
- 1992年より98年 地区米山奨学委員会に所属。地区内、他地区ロータイアンと知り合う。
- 2002年～2003年 クラブ会長
- 2005年 指田パストガバナーよりガバナー候補の打診を受ける。数回お断りをする。



指田PG東京に戻り「人生が変わる」から引き受けなさい。

